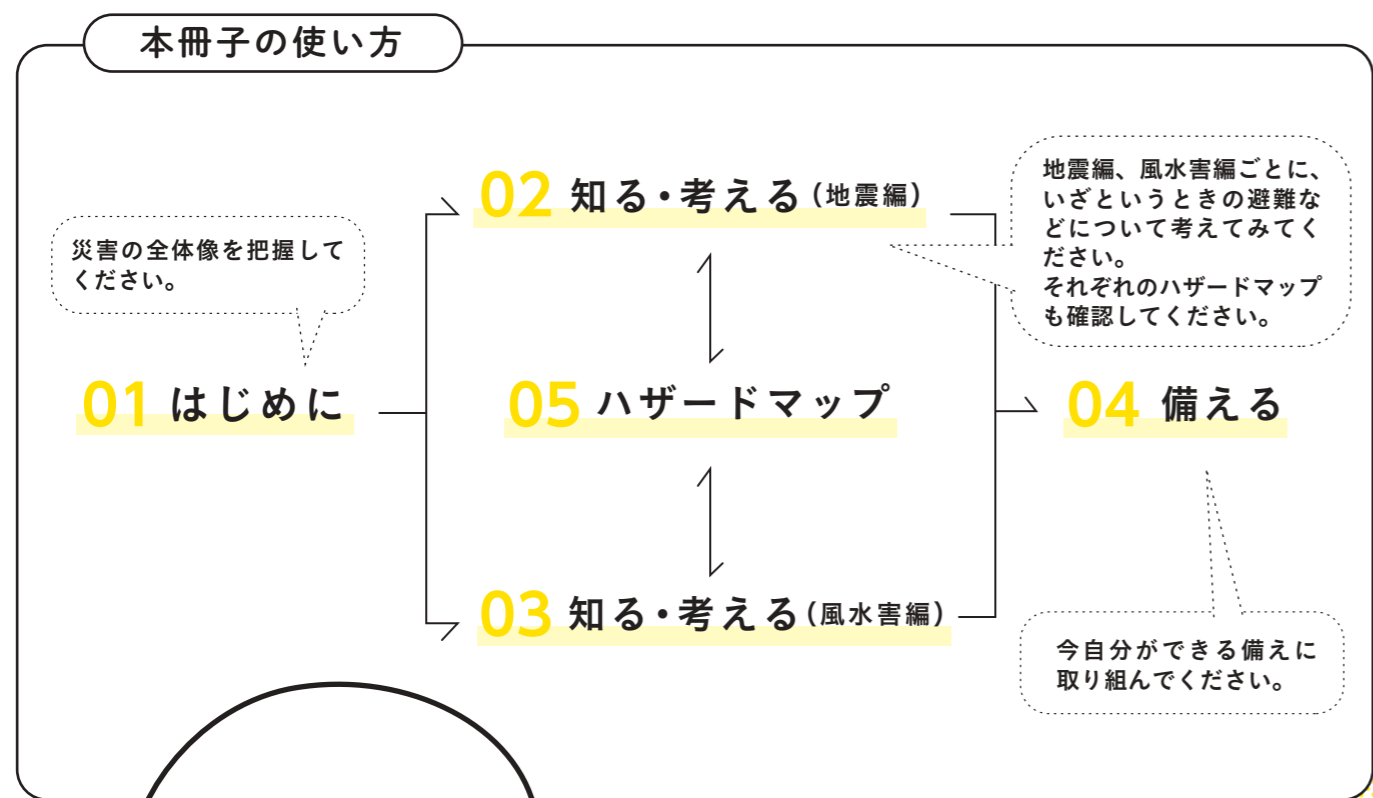


災害への「備え」、ほんまにできてる？ 命を守るカギは「備え」やで。

災害から命を守るカギは「備え」です。「備え」のためには、まずは日頃から想定される災害を「知り」、いざというときの避難などについて「考える」ことから始まります。

この冊子には、堺市民の皆さんが「知る」「考える」「備える」ための情報を掲載しました。冊子を参考に、今自分ができる「備え」をし、災害時には、自分や家族、地域の皆さんの命を守る「行動」をとってください。



南海トラフ巨大地震とか、
大雨による水害が起こったら、
堺市はどうなるんやろ？
私にできる「備え」はなんやろ？
みんなに聞いてみよ！

目次

目次

01 はじめに

- 1-1. こんな災害に注意を！ P03
- 1-2. 中区での取り組み P03

02 知る・考える (地震編)

- 2-1. 地震災害を知る！ P04
- 2-2. 地震・津波発生時にとるべき行動を考える！ P05-06

03 知る・考える (風水害編)

- 3-1. 風水害を知る！ P07-08
- 3-2. 風水害時にとるべき行動を考える！ P09-12

04 備える

- 4-1. 今からできる備えをしよう！ P13-14

05 ハザードマップ

- 5-1. 津波ハザードマップ P15
- 5-2. 高潮ハザードマップ P16
- 5-3. 洪水・土砂災害ハザードマップ (石津川・大雨特別警報の発表が予想されるとき) P17-20
- 5-4. 洪水・土砂災害ハザードマップ (石津川・大雨特別警報の発表が予想されないとき) P21-24
- 5-5. 内水ハザードマップ P25-26

- わが家の避難計画を書き込もう！ 裏表紙

はじめに

1-1. こんな災害に注意を!

中区

想定される災害

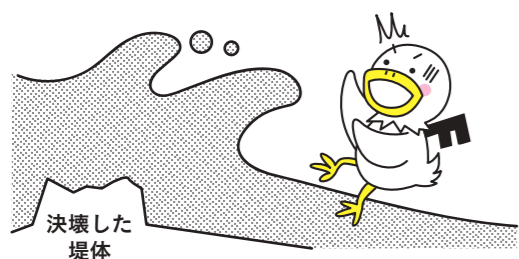
- 地震被害
- 内水氾濫
- 洪水
- 土砂災害

おじいちゃんの教え

中区は、平野と泉北丘陵の間に位置する台地で、区の西側には石津川が流れておる。地震被害、内水氾濫、洪水に加え、局所的にがけ地があり、土砂災害にも注意が必要じゃ。それと...
詳しくはハザードマップを確認じゃ!

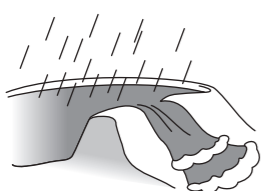
災害時に、川やがけには近寄るべからず

1-2. 中区での取り組み



中区では、古くから農業用水を確保するために作られた「ため池」がたくさんあるよ。大雨や大地震のときは、決壊するリスクがあるので状況によく注意やで!

大雨のとき



ため池の洪水吐に流木が詰まり、正常に排水できなくなった場合など、ため池の水位が上昇して堤体を越えた水の勢いによって、決壊することがありますので、状況によく注意してください。

大地震のとき



ため池の堤体が異常な力を受けて亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する危険性がありますので、状況によく注意してください。

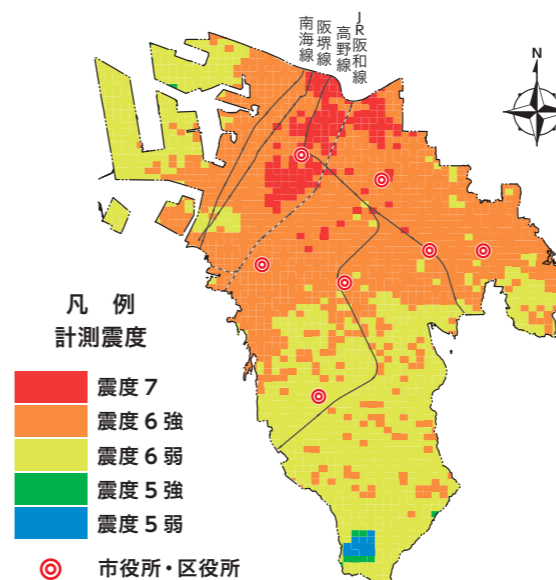
知る・考える (地震編)

2-1. 地震災害を知る!

私たちが暮らす日本では、どの場所においても、地震による強い揺れが発生するおそれがあります。そして、地震はいつ発生するかを予測することが難しい災害です。

堺市に大きな被害を及ぼす可能性がある主な地震として、**内陸型地震 (直下型地震) である上町断層帯地震と、海溝型地震である南海トラフ巨大地震**があります。

想定される地震の被害想定を知る!



上町断層帯地震

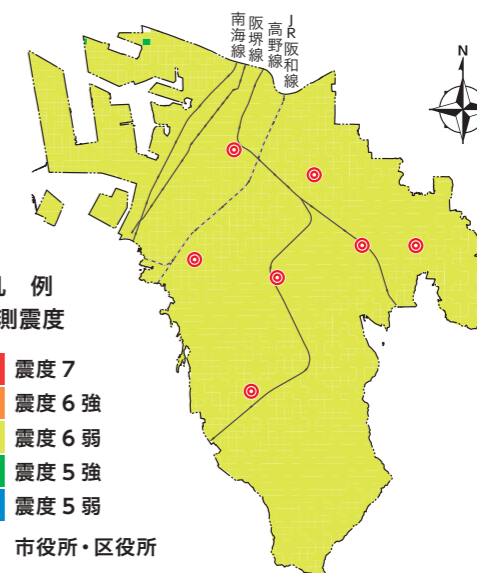
被害想定

全壊棟数	70,929 棟
焼失棟数	25,637 棟
死者数	3,017 人
避難者数	138,643 人
罹災者数	420,132 人

南海トラフ巨大地震

被害想定

全壊棟数	11,053 棟
焼失棟数	3,165 棟
死者数	6,103 人
避難者数	74,402 人 (1日後)
罹災者数	116,024 人 (1か月後)



地震の揺れによって、建物倒壊や火災、地盤の弱い地域では液状化、土砂災害などが起こるぞ。南海トラフ巨大地震が起これば、津波も発生するんじゃ。どちらの地震もいつ発生してもおかしくはない。わしが生きている間に起こるじゃろうか。

2-2. 地震・津波発生時にとるべき行動を考える！

1 地震発生そのとき！

地震は、いつ起こるのか予測が難しいわね…。自宅にいるとき、外にいるとき、もしも地震が起きたら、自分の身の回りがどんな状態になるか、想像しておくことが大切ね。



緊急地震速報 地震発生 身の安全を確保！

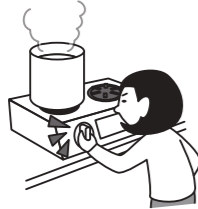
1分～3分

火の元・家族の安全を確認

落ちついて

揺れがおさまったら家族で声を掛け合い、お互いの安全確認！

火の元の確認・初期消火



くつを履く

(ガラスの破片などから足を守ります)



出口を確保



余震に注意！

「揺れがおさまったからもう大丈夫！」と安心せずに、二次災害に備えることが大切です。また、大地震の後は数か月間、強い余震が起こることもあるので油断せずに行動しましょう。

3分～10分

正しい情報をつかむ
津波予想は地震発生から約3分で発表

情報収集

大きな地震の後には、引き続き揺れが発生する可能性があります！

テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認！



テレビ・ラジオ

テレビやラジオで地域の防災情報が流れます。

屋外スピーカー・広報車

避難指示の発令など、屋外スピーカーや広報車などでお知らせします。

緊急速報メール

避難指示の発令など、市内に存在する携帯電話に一斉送信します。

おおさか防災ネット

あらかじめ登録した携帯電話などへ、防災情報などを配信します。

余震が起きるかも！



10分～数時間

状況に応じて冷静に対応

助け合い

家屋倒壊の危険などがあれば避難！

ご近所の安否確認



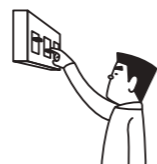
地域ぐるみで安否確認



地域ぐるみで協力し合って救急、救護、初期消火



避難の前にはガスの元栓・電気ブレーカーを切る！



2 津波警報・大津波警報が発表されたら！

津波避難対象地域にいる方

大阪府に津波警報・大津波警報が発表されたときはすぐに立退き避難

南海トラフ巨大地震発生後、津波が到達するまでの約100分間に…

- 1 JR 阪和線を目標に、東の高い所へ徒歩で避難しましょう。
- 2 逃げ遅れた方、遠くまで逃げるのが困難な方は、津波避難ビルなど高い所へ避難しましょう。

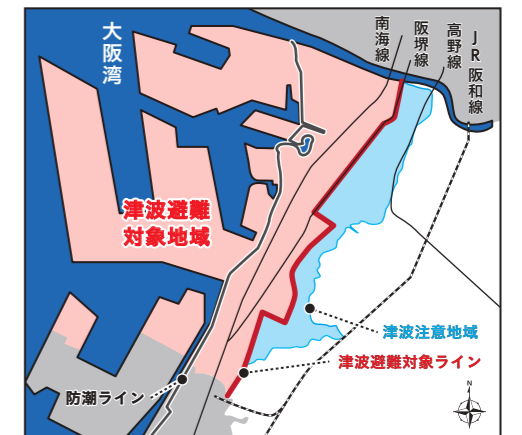
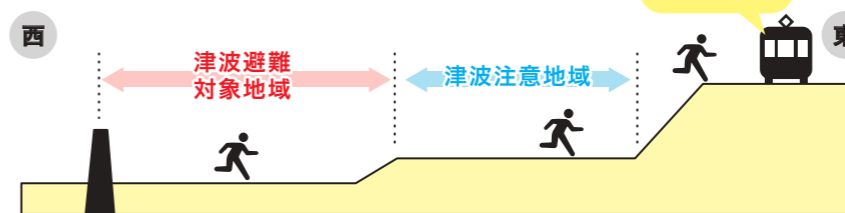
※津波の高さが20～30cmでも速い流れに巻き込まれる危険があります。



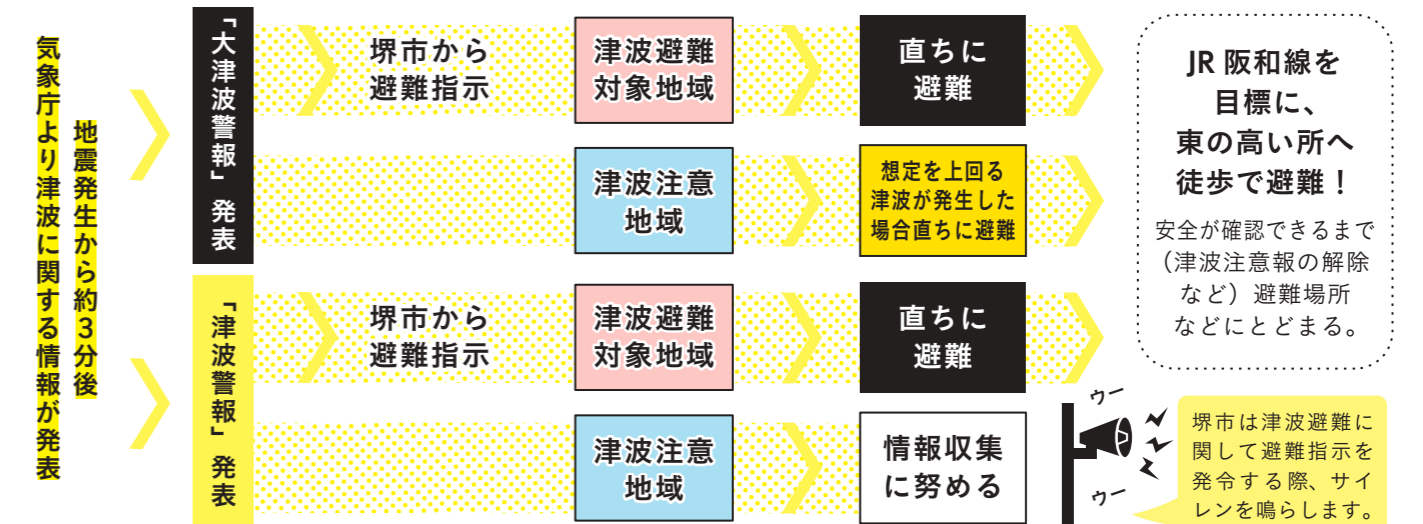
津波避難対象地域・津波注意地域を知る！

- 津波避難対象地域** 津波警報・大津波警報が発表されたときは、直ちに避難を開始してください。
- 津波注意地域** 大津波警報が発表されたときは、直ちに避難ができる準備をしてください。

堺市の道路（東西方向）断面図イメージ



津波からの避難行動を考える！



津波避難ビル

高台に逃げるのが困難な場合の緊急一時避難場所として、頑丈で耐震性の基準を満たし、3階以上の高さのある建物を津波避難ビルに指定しています。外からわかるように、入り口付近などにプレート(左図)を掲げています。津波避難ビルがどこにあるか前もって、ハザードマップなどで確認しておきましょう。



知る・考える (風水害編)

3-1. 風水害を知る!

毎年6月～10月は、集中豪雨(梅雨)や台風が発生し、風水害が起きやすい時期(出水期)です。風水害は、気象予報によって発生時期を予測することが比較的可能です。局地的大雨(ゲリラ豪雨)のような予測しにくい雨が降ることもあります。積極的な情報収集と早めの避難行動を心掛けましょう。

堺市では、大雨によって下水道などが氾濫する**内水氾濫**、河川が氾濫する**洪水(外水氾濫)**、がけなどが崩れる**土砂災害**、台風による**高潮**と様々な風水害が発生するおそれがあります。低い土地や河川、海岸、がけの近くにお住まいの方は、特に注意が必要です。

風水害の特徴を知る!

Q. 内水氾濫・洪水(外水氾濫)とは?

内水氾濫



降った雨をスムーズに河川に排水できずに、水路や下水道などから水があふれる現象です。

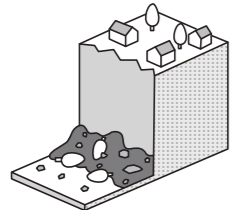
洪水(外水氾濫)



大雨により河川の堤防が決壊したり、堤防から水があふれる現象です。

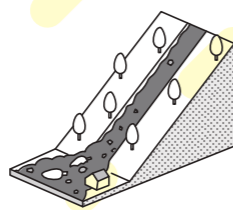
Q. 土砂災害とは? 土砂災害は地震でも発生する場合があります。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



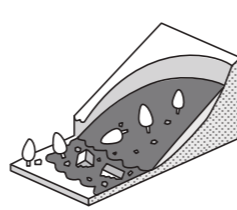
急な斜面が大雨により、突然崩れ落ちる現象です。

土石流



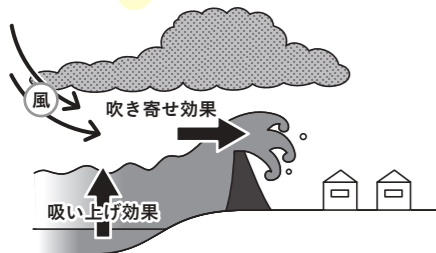
山から崩れてきた土や岩が、水と一緒に谷を流れてくる現象です。

地すべり



傾きの緩い斜面が広い範囲にわたってすべり落ちていく現象です。

Q. 高潮とは?



台風などにより海面が異常に高くなる現象です。単なる高波とは異なり、広い範囲で長期間浸水する危険があります。



洪水(外水氾濫)からの避難の考え方を知る!

大和川周辺にお住まいの方

水位情報や避難情報に注意して、洪水・土砂災害ハザードマップ(大和川)を参考に避難などの対応を行ってください。(※洪水・土砂災害ハザードマップ(大和川)は、堺区、西区、北区の防災マップのみ掲載しています。避難の必要性やタイミングについては、P09-10を参照。)

西除川、東除川、石津川周辺にお住まいの方

西除川、東除川、石津川には、想定される雨の規模により2種類のハザードマップがあります。大雨特別警報の可能性を目安として、使い分けてください。(※避難の必要性やタイミングについては、P09-10を参照。)

大雨特別警報の可能性が

あるとき

ただちに堺市が避難指示を発令します。洪水・土砂災害ハザードマップ(西除川/東除川/石津川・大雨特別警報の発表が予想されるとき)を参考に避難などの対応を行ってください。

ないとき

水位情報や避難情報に注意して、洪水・土砂災害ハザードマップ(西除川/東除川/石津川・大雨特別警報の発表が予想されないとき)を参考に避難などの対応を行ってください。

※大雨特別警報は、堺市内に数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況に、気象庁が発表する情報です。

各河川の避難情報発令の判断水位

堺市が発令する避難情報	水位観測所の水位基準				
	大和川(柏原)	西除川(野田)	東除川(古川橋)	石津川	
				(戎橋)	(万崎橋)
警戒レベル4 避難指示	5.30 m	1.60 m	2.60 m	4.20 m	3.45 m
警戒レベル3 高齢者等避難	4.70 m	1.40 m	2.40 m	3.85 m	3.10 m

高潮からの避難の考え方を知る!

海岸近くにお住まいの方

堺市に台風が接近し、高潮の発生が予想される場合、大阪(天保山)の潮位を基準に、気象庁から高潮警報などが発表されます。堺市では、気象庁が発表する高潮警報などを基に、堺市内に避難情報を発令します。高潮ハザードマップを参考に避難などの対応を行ってください。(※避難の必要性やタイミングについては、P09-10を参照。)

高潮の避難情報発令の判断潮位

堺市が発令する避難情報	判断基準
警戒レベル4 避難指示	・高潮警報が発表され、予測潮位が防潮ライン(T.P.+3.8m)を超える場合 ・高潮特別警報が発表された場合
警戒レベル3 高齢者等避難	・警報に切り替える可能性に言及する高潮注意報が発表され、予測潮位が防潮ライン(T.P.+3.8m)を超える場合

※T.P.とは東京湾平均海面(Tokyo Peil)のことです。

河川の水位、潮位などの確認はこちらから!

国土交通省 川の防災情報
スマートフォン版QRコード▶
<https://www.river.go.jp/>



大阪府河川室 河川防災情報
<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>

堺市 防災テレメータシステム
<http://www.kikikanri1.city.sakai.lg.jp/>

3-2. 風水害時にとるべき行動を考える！

1 風水害時の避難を考えよう！

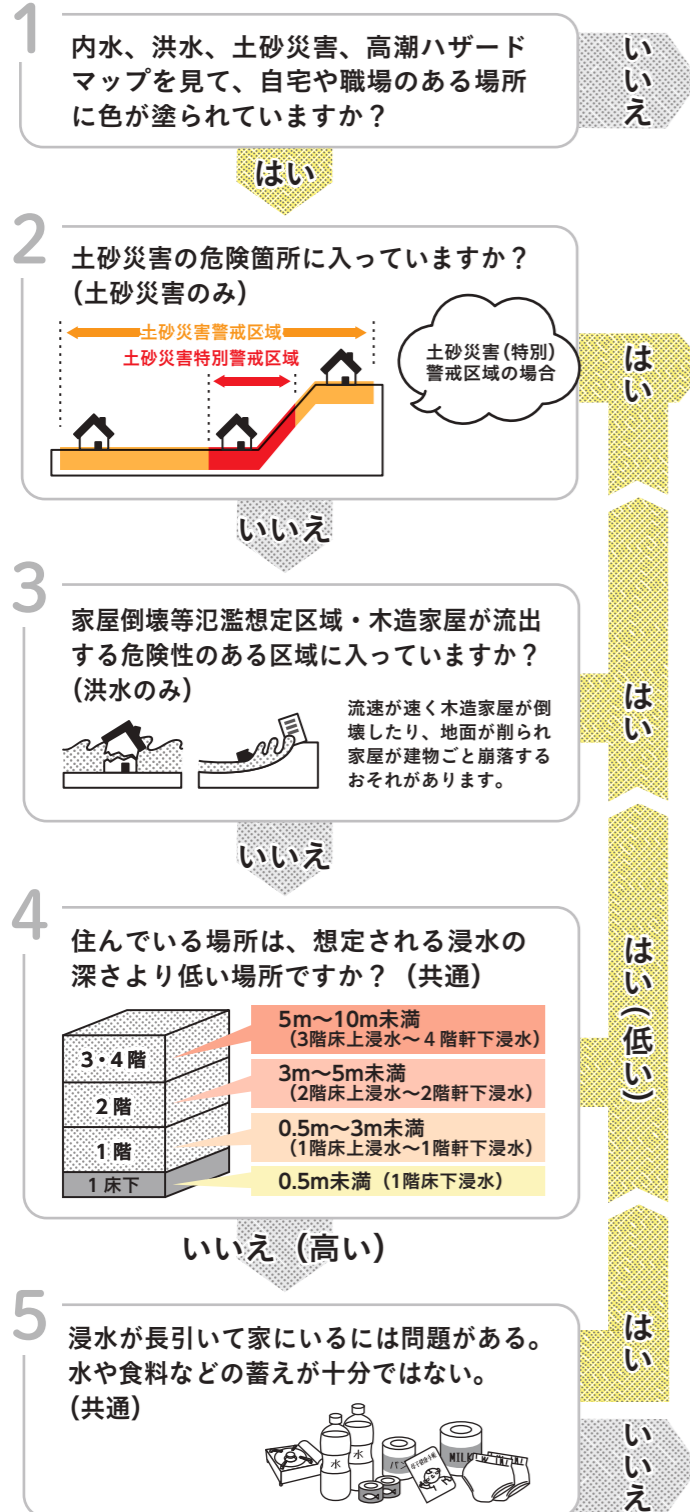
Step1. 自分は避難が必要？

内水、洪水、土砂災害、高潮ハザードマップを参考に、自分は避難が必要かについて、以下のフローチャートで確認してみましょう。

この冊子のほか、インターネットでも各種ハザードマップが確認できます。



【堺市ハザードマップ】 【堺市e-地図帳】



外出せずに屋内にとどまる

想定外の事態も考えられます。周囲の状況に気を配り、テレビなどで情報を収集しましょう。

立退き避難

自宅以外の場所へ避難

(親戚、知人宅、小学校などの避難場所へ)



親戚や知人に日頃から相談しておきましょう。

※より安全のため、早めに浸水想定区域外・土砂災害の危険箇所の区域外へ

もしも避難が遅れた場合は…

緊急安全確保

避難が遅れた場合は、無理して遠くへ向かわず、近隣のマンションなど、より高い場所へ避難しましょう。



より上の階へ避難

屋内安全確保

自宅の上階など、浸水しない場所に避難しましょう。



Step2. 避難のタイミングはいつ？

風水害時の避難のタイミングを考える上で、警戒レベルを覚えておきましょう。警戒レベルは、災害発生のおそれの高まりに応じて、5段階が設定されています。より警戒レベルの高い情報ほど、危険が迫っていることを知らせるものです。自ら情報を収集し、自主的避難を心掛けましょう。

低	経過(例)	警戒レベル	とるべき行動
低	気象状況の悪化	警戒レベル1 早期注意情報(気象庁)	情報収集し、避難行動を確認！
		警戒レベル2 大雨・洪水注意報(気象庁)	情報収集し、避難行動を確認！
緊急度	災害発生のおそれあり	警戒レベル3 高齢者等避難(堺市)	危険な場所から高齢者等は避難！ <small>(※避難に時間のかかる高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児などのいる家庭の方は、避難をしてください。)</small>
	災害発生の危険性が高まる	警戒レベル4 避難指示(堺市)	危険な場所から全員避難！！
〈警戒レベル4までに必ず避難！〉			
高	災害発生	警戒レベル5 緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！

※災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。警戒レベル4までに必ず避難してください。

キキクルを確認しよう！

キキクル 検索

キキクルは、大雨による災害発生の危険度の高まりを地図上で確認できる「危険度分布」の愛称です。「危険度分布」は、大雨による災害の危険度を色分けして地図上にリアルタイム表示されます。気象庁ホームページやテレビなどで確認することができます。



2 風水害時の避難について

避難は計画的に！

風水害時を想定し、あらかじめハザードマップを確認し、計画的な避難行動を考えておきましょう。一方で、適切なタイミングで避難することが出来なかった場合は、少しでも浸水しにくい高い場所（洪水の場合）やがけから離れた場所（がけ崩れの場合）に移動し、身の安全を可能な限り確保する「緊急安全確保」を行ってください。

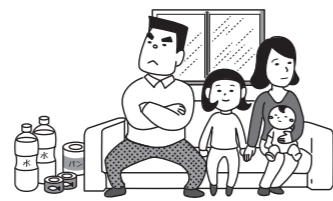
計画的な避難行動

立退き避難



避難行動の基本です。堺市が指定する避難場所や近隣のより安全な場所・建物などへ移動する避難です。

屋内安全確保



あらかじめ自宅の安全性が分かっている場合の避難行動です。2階以上への避難の場合、長時間の孤立に備え、水、食料などを備蓄しておきましょう。

緊急安全確保



逃げ遅れた場合の避難行動です。身の安全を確保できるとは限りません。

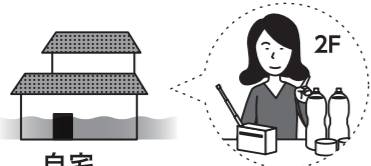
分散避難も考えておこう！

小中学校などの堺市が指定する避難場所に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けることです。親戚・知人宅や宿泊施設への避難もあらかじめ考えておきましょう。

避難指示

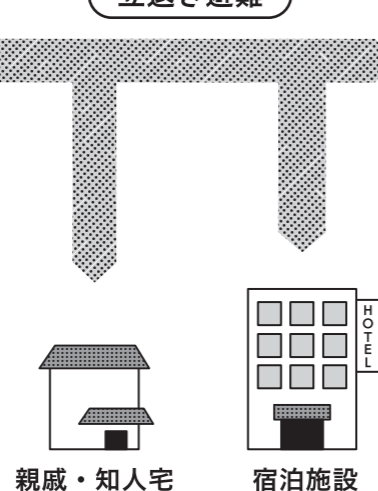


屋内安全確保



※想定される浸水の深さよりも高い場所に住んでいるなど安全が確保できる場合。

立退き避難



堺市が指定する避難場所

まさか...
避難場所に行く
ことだけが避難だ
と思っへん？

堺市が指定する避難場所を確認しておこう！

堺市では災害に備えて、地震や風水害の災害種別毎に避難場所を指定しています。近くの避難場所を確認しておきましょう。



指定緊急避難場所

津波や洪水などの危険から、生命の安全を確保するため緊急に避難するところ。その場所にそのまま滞在することは想定されていません。



指定避難所

台風や土砂災害、地震や津波により家を失った際に数週間から数ヵ月避難して生活を行うところ。堺市においては、多くの指定避難所が、指定緊急避難場所を兼ねています。

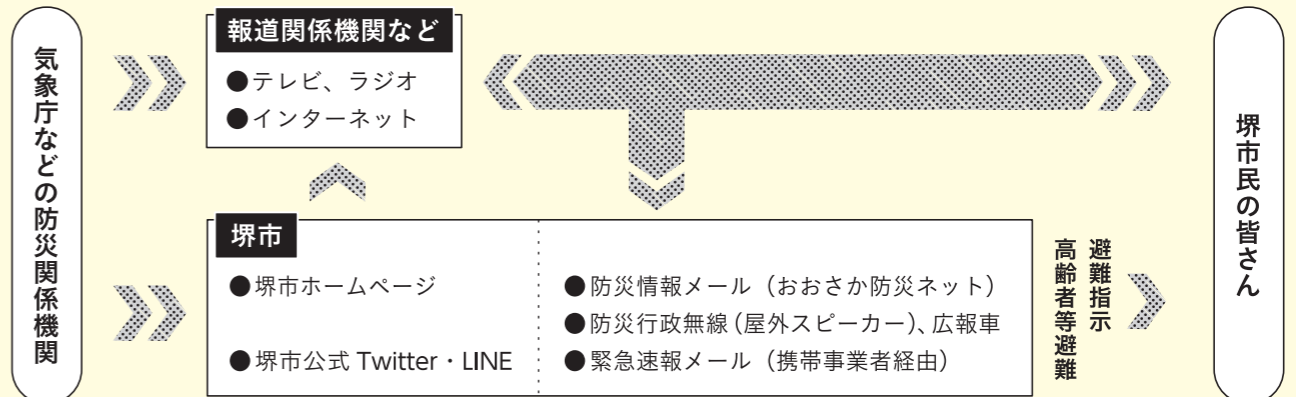
避難は、「浸水が始まる前」「自主判断」「徒歩」が大原則じゃ。事前に避難場所も確認しておく事じゃ。



災害時における情報発信に関するお知らせ

堺市では、災害時には堺市ホームページや防災行政無線（屋外スピーカー）などを通じた情報発信を行います。また、平時においても防災に関する情報を発信していますので、堺市ホームページなどをご確認ください。

災害時における防災情報などの情報伝達の流れ



災害時に情報を得る方法を事前に確認・登録しておきましょう！

堺市ホームページ

大規模災害時にはトップ画面を専用画面に切り替えることとしています。



防災情報メール(おおさか防災ネット)

気象や避難に関する情報をメールで取得できます。右のQRコードから空メールを送信し、案内に従い登録してください。



テレビで確認！

テレビのリモコンのdボタンで防災情報などを確認できます。



TwitterやLINEで防災情報を取得



Twitter



LINE

屋外スピーカー

聞こえにくかった場合、電話で聞き直すことができます。(※通話料は必要です。)

【電話】050-5536-6956

備える

4-1. 今からできる備えをしよう！

みんなで助け合える関係づくりに取り組もう！

災害時、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自主防災の活動が大きな力となります。普段からお互いに声を掛け合い、地域の防災訓練などへ参加してみましょう。

普段からお互いに声を掛け合うと



いざというとき、助け合える



要配慮者の支援に取り組もう！

地域には高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、アレルギーなどの慢性疾患のある方、外国人の方などがいます。日頃から気にかけて、お互いにコミュニケーションをとり、そして災害が起きたときにはみんなで助け合える関係を作りましょう。



Q. 要配慮者とは？

災害時に限定せず一般に、「特に配慮を要する人」のことで、高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、アレルギーなどの慢性疾患のある方、外国人の方など。

Q. 避難行動要支援者とは？

要配慮者のうち、災害が発生した場合に、または災害が発生するおそれがある場合に、自ら避難することが困難で、円滑・迅速に避難するために特に支援を必要とする人。

非常持ち出し品・非常備蓄品を準備しよう！

公的な支援物資は、発災からすぐに届かないかもしれません。コンビニなどのお店にも人が殺到し、すぐに商品がなくなるかもしれません。そのため、ご家庭で非常食などの防災グッズを備える事はとても重要です。

ローリングストック法

「非常時には非常食を」と思っていないですか？非常時に食べるものは必ずしも非常食ではなく、日常食べているもので足りる。

例えば缶詰やカップラーメン、レトルト食品など、普段の買い物のときに少し多めに買い置きし、日々使いながら減った分をまた買い足すことで、特別な準備や出費をせずに備蓄することができます。



わが家の避難計画を考えよう！

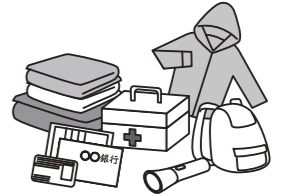
避難への備えとして、本冊子の裏表紙にある「わが家の避難計画」に、地震・津波時、風水害時の避難先や避難するタイミングを考えて、記入してみましょう。

非常持ち出し品

非常持ち出し品は、避難するときに持ち出すものです。

持って運べるだけの必要最低限にし、リュックサックなど両手が使える袋に入れましょう。

- スマートフォン（携帯電話）
- 充電器
- モバイルバッテリー（電池タイプ）
- 懐中電灯（ヘッドライト）
- 電池式ラジオ
- 薬（常備薬、服薬中の薬）
- お薬手帳
- 非常食・水
- 携帯トイレ
- コンタクトレンズ（予備の眼鏡）
- 軍手・手袋
- ビニール袋
- マスク・消毒液
- 歯ブラシ・歯磨きシート
- 体温計
- 上履き（スリッパ、靴下など）
- タオル
- 衣類
- 貴重品（現金（小銭含む）、印鑑、通帳、健康保険証、免許証など）
- その他自分の生活に欠かせないもの（使い捨て哺乳びん、生理用品、紙おむつ、とろみ剤など）



非常備蓄品

非常備蓄品は、災害直後から混乱が収まるまでに必要なものです。

最低3日間分、できれば1週間分以上の備蓄をしておきましょう。

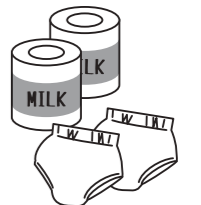
在宅避難生活を支えるもの

- 飲料水、生活用水
- 非常用給水袋
- 非常食（アルファ化米、レトルト食品など）
- 携帯コンロ、ガスボンベ
- ラップ、アルミホイル
- 衛生用品
- 雨具
- 使い捨てカイロ
- 予備電池
- 生理用品
- 毛布
- なべ
- やかん
- 簡易食器
- 簡易トイレ
- バケツ
- 工具類（ロープ・ボールなど）
- 新聞紙
- 布ガムテープ
- その他自分の生活に欠かせないもの



乳幼児・妊産婦がいる家庭に役立つもの

- ミルク（粉・液体）
- 使い捨て哺乳びん
- 紙コップ
- スプーンなど
- 紙おむつ
- おしりふき
- おんぶひも
- 抱っこひも
- ガーゼハンカチ
- 清浄綿
- スタイ（よだれかけ）
- 母乳パッド
- 授乳ケープ
- ベビーフード
- おもちゃなど



高齢者・要介護者がいる家庭に役立つもの

- 大人用紙おむつ
- 紙パンツ
- 入れ歯
- 入れ歯用洗浄剤
- 杖
- 介護用品
- 老眼鏡
- 補聴器
- 障害者手帳
- ヘルプマーク
- とろみ剤
- その他自分の生活に欠かせないもの



5-1. 津波ハザードマップ

津波警報・大津波警報が発表されたときはすぐに避難

地震発生後、津波が到達するまでの約100分間に
 ● JR阪和線を目標に、東の高い所へ徒歩で避難しましょう。
 ● 逃げ遅れた方、遠くまで逃げるのが困難な方は、津波避難ビルなど高い所へ避難しましょう。

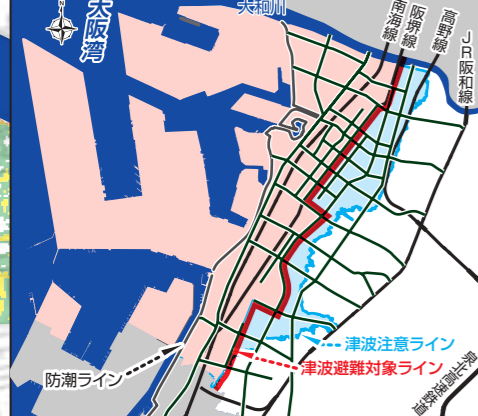
津波ハザードマップについて

このマップは、大阪府が平成25年8月に発表した津波浸水想定に基づいています。想定された津波は、1,000年に一度あるいはそれより発生頻度が低い最大クラスのもので、津波は自然現象であり、さらに浸水域が広がる可能性があります。

津波避難対象地域・津波注意地域

津波避難対象地域 津波警報・大津波警報が発表されたときは、直ちに避難を開始してください。

津波注意地域 大津波警報が発表されたときは、直ちに避難ができる準備をしてください。

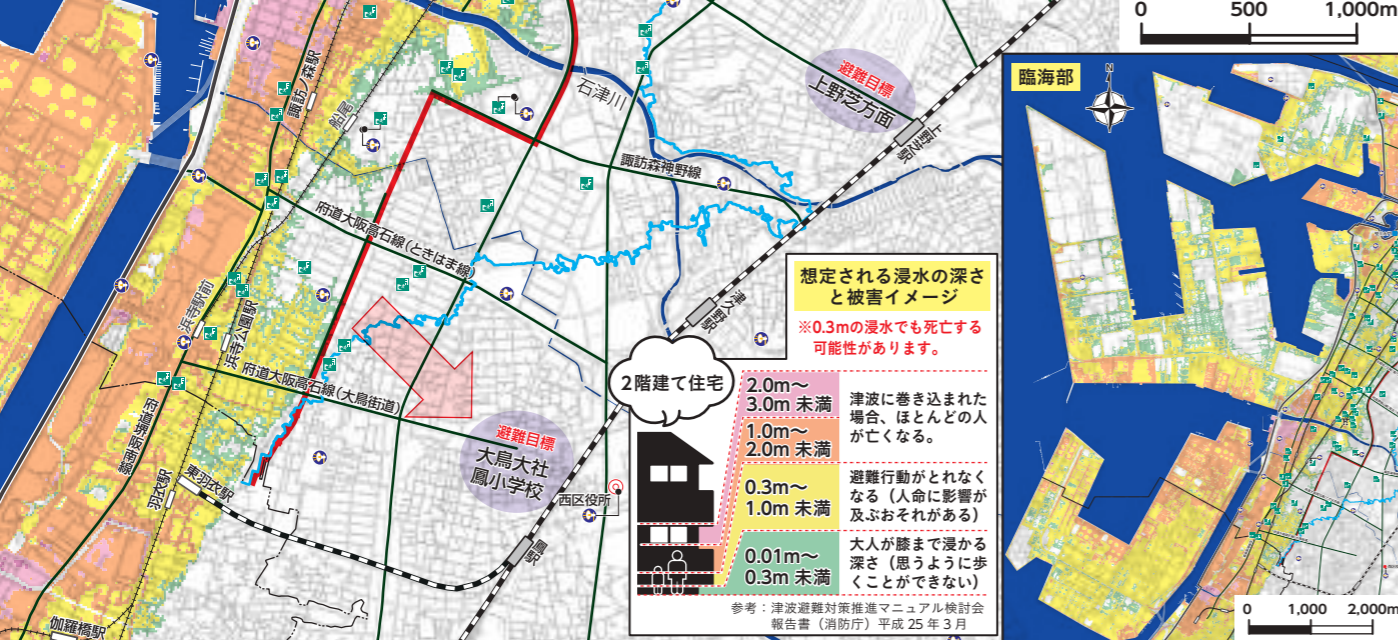


凡例

- 津波避難ビル※
- 避難路
- 避難目標
- 避難方向
- 市役所・区役所等
- 想定される浸水の深さ
- 津波避難対象ライン
- 津波注意ライン(標高6.8m)
- 防潮ライン
- 水門
- 屋外スピーカー※
- 津波避難対象ライン

2.0m~3.0m 未満
1.0m~2.0m 未満
0.3m~1.0m 未満
0.01m~0.3m 未満

※令和4年1月末時点。津波避難ビルの最新情報はホームページをご覧ください。
<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/bosai/kojo/tsunami/>



5-2. 高潮ハザードマップ

~最大級の台風が来ると高潮でこんなに広範囲に浸水する可能性が~早めに高潮浸水想定区域外へ避難しましょう!

凡例

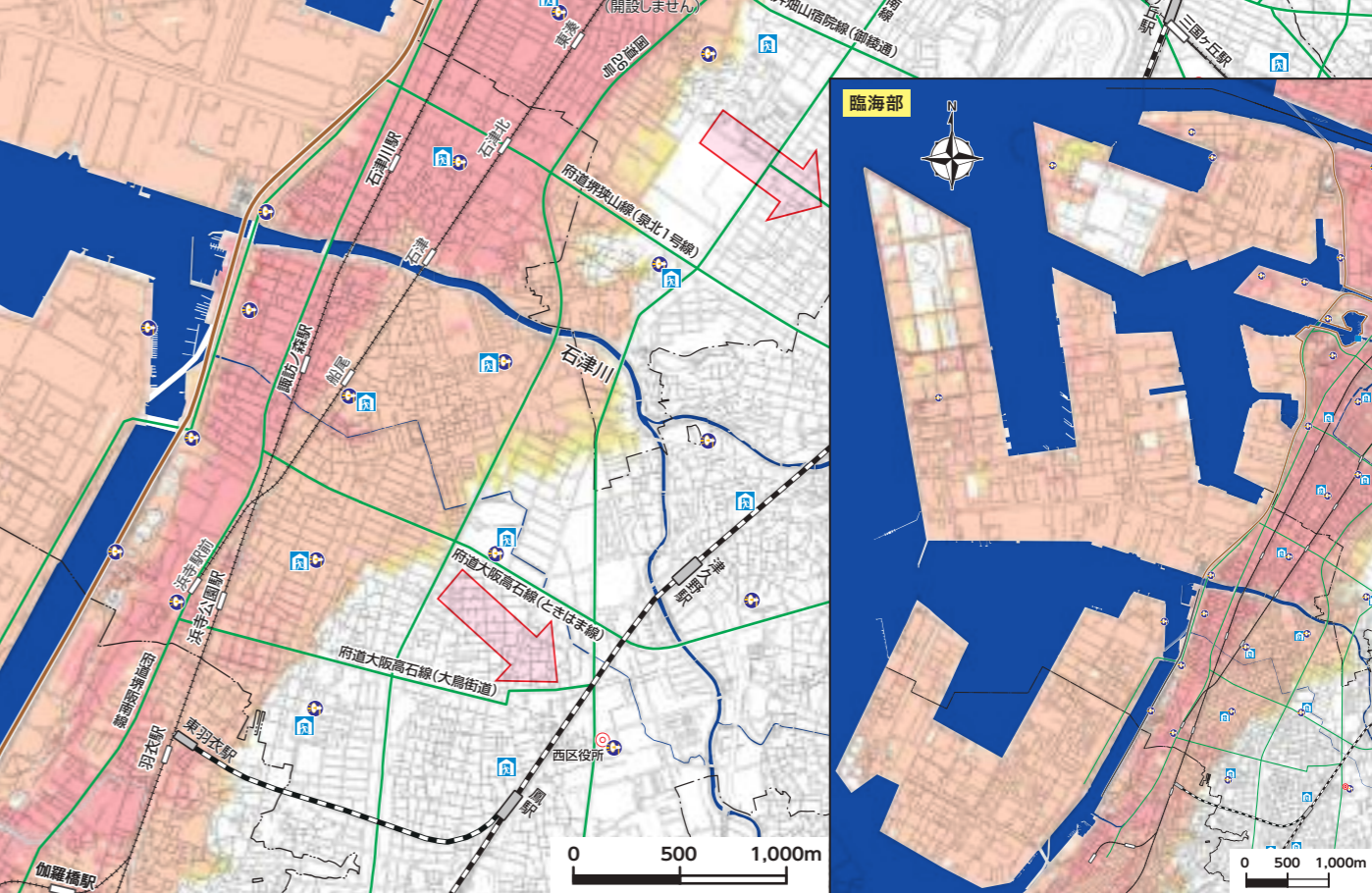
- 避難所(風水害・地震)
- 屋外スピーカー
- 市役所・区役所等
- 避難方向
- 想定される浸水の深さ
- 防潮ライン
- 水門
- 主要道路

5m~10m 未満
3m~5m 未満
0.5m~3m 未満
0.5m 未満

- 想定される最大の台風**
 上陸時の中心気圧は910hPa
 移動速度：73km/h
 (参考：関西空港などに大被害をもたらした平成30年台風21号の徳島県上陸時の中心気圧は950hPa)
- 最も大きな高潮を発生させる経路**
 大阪湾の西側
 20km~60kmを通過
- 満潮について**
 大潮の時期の満潮を想定
 大潮：潮位差が大きくなる現象(新月満月の前後数日)
 満潮：海水面が高くなる現象(通常1日2回)

想定される浸水の深さと被害イメージ

3~4階	5m~10m 未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m 未満 (2階床上浸水~2階軒下浸水)
1階	0.5m~3m 未満 (1階床上浸水~1階軒下浸水)
1階床下	0.5m 未満 (1階床下浸水)



※この洪水・土砂災害ハザードマップは着色した河川区間の浸水想定区域を示しています。

5-3. 洪水・土砂災害ハザードマップ(石津川・大雨特別警報の発表が予想されるとき)

洪水・土砂災害ハザードマップ(石津川)について

このマップは、想定し得る最大規模の大雨(24時間総雨量931.4mm、1時間最大雨量103.7mm)が降った場合を想定したものです。(令和2年11月大阪府)マップで示した場所以外でも浸水が発生する可能性があります。雨の降り方などに十分注意しましょう。

大洪水に注意！早めに避難を！

これまで経験したことがない大雨が長い時間続き、大雨警報が発表される基準をはるかに超え、命に関わる大災害が広い範囲で起きることが想定される状況です。

気象庁より大雨特別警報の発表が予想されるときは、1日前など早くからテレビなどで何度も取り上げられます。

※ただし、突然の特別警報発表となる場合もあるため、早期早めの避難行動を心がけてください。

堺市では、浸水が想定される範囲の方々に避難指示などを発令します。

想定される浸水の深さと被害イメージ

5m~10m 未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)	3・4階
3m~5m 未満 (2階床上浸水~2階軒下浸水)	2階
0.5m~3m 未満 (1階床上浸水~1階軒下浸水)	1階
0.5m 未満 (1階床下浸水)	1階床下

家屋倒壊等
浸水想定区域
(氾濫流)

河川の近くは、水の流れて地面が削られ、崩れるおそれがあります。早期に河川から離れた場所に避難することを心掛けましょう。

中区避難所一覧	
避難所一覧 (風水害・地震)	避難所一覧 (地震時のみ開設)
東百舌鳥小学校	東百舌鳥中学校
土師小学校	深井中央中学校
宮園小学校	八田荘中学校
久世小学校	平井中学校
福田小学校	深井中学校
東陣器小学校	教育文化センター (ソフィア・堺)
西陣器小学校	府立東百舌鳥高校
深井小学校	原池公園体育館
深阪小学校	八田荘小学校
八田荘西小学校	八田荘西小学校
深井西小学校	深井西小学校
東深井小学校	東深井小学校
泉ヶ丘東中学校	泉ヶ丘東中学校

※中区域における避難所の位置は、P17~20で確認できます。

土砂災害(特別)警戒区域

警戒区域

特別警戒区域

土砂災害危険箇所

急傾斜地崩壊危険箇所

がけ

影響範囲

※マップ上に示された箇所以外でも土砂災害が発生する可能性があります。身の危険を感じたら、速く避難をしましょう。
(令和3年4月7日大阪府指定分まで)

凡例

避難所(風水害・地震)

避難所(地震時のみ開設)

市役所・区役所等

消防

警察

災害拠点病院等

屋外スピーカー

アンダーパス

水位観測所

雨量観測所

河川ライブカメラ

広域避難地(大規模火災時)

主な河川・海

有料道路

主要道路

市境界線

区境界線

※凡例には、この真に記載のない施設なども表示していません。

索引図(石津川)

北区

東区

中区

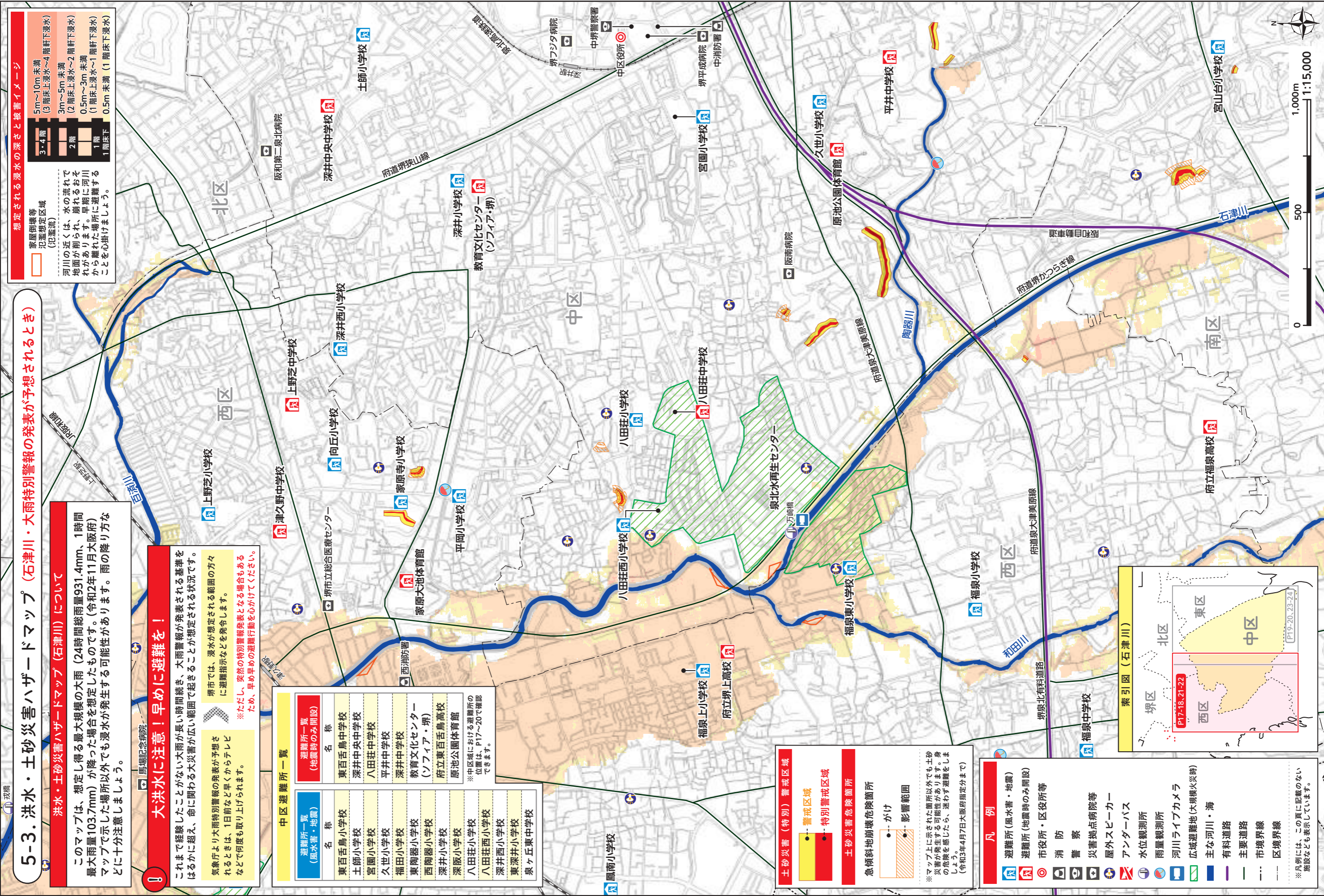
南区

西区

堺区

P17-18, 21-22

P19-20, 23-24



※この洪水・土砂災害ハザードマップは着色した河川区間の浸水想定区域を示しています。

5-3. 洪水・土砂災害ハザードマップ(石津川・大雨特別警報の発表が予想されるとき)

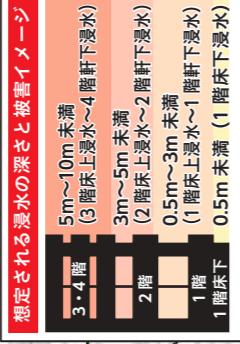
洪水・土砂災害ハザードマップ(石津川)について
 このマップは、想定し得る最大規模の大雨(24時間総雨量931.4mm、1時間最大雨量103.7mm)が降った場合を想定したものです。(令和2年11月大阪府)マップで示した場所以外でも浸水が発生する可能性があります。雨の降り方などに十分注意しましょう。

大洪水に注意！早めに避難を！

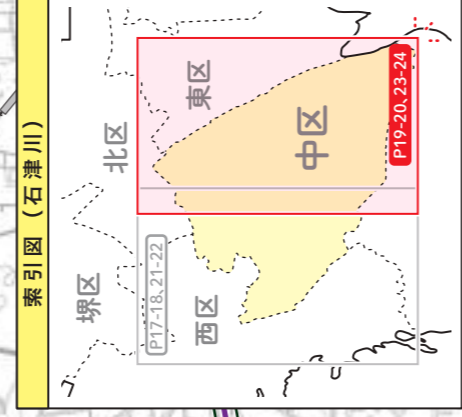
これまで経験したことがない大雨が長い時間続き、大雨警報が発表される基準をはるかに超え、命に関わる大災害が起きることが想定される状況です。

気象庁より大雨特別警報の発表が予想されるときは、1日前など早くからテレビなどで何度も取り上げられます。

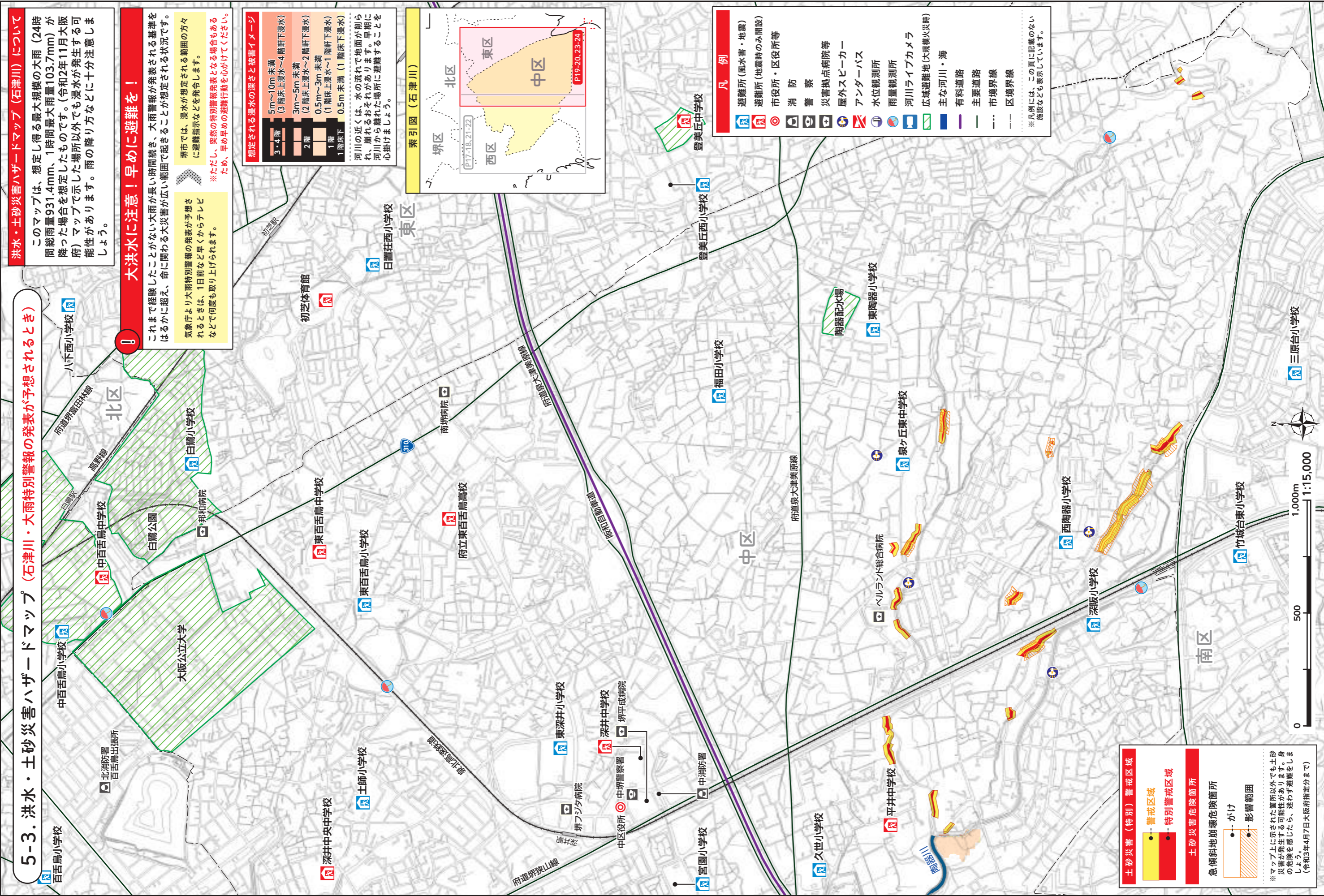
※ただし、突然の特別警報発表となる場合もあるため、早め早めの避難行動を心がけてください。



河川の近くは、水の流れて地面が削られ、崩れるおそれがあります。早期に河川から離れた場所に避難することを心掛けましょう。



- 凡例**
- 避難所(風水害・地震)
 - 避難所(地震時のみ開設)
 - 市役所・区役所等
 - 消防
 - 警察
 - 災害拠点病院等
 - 屋外スピーカー
 - アンダーパス
 - 水位観測所
 - 雨量観測所
 - 河川ライブカメラ
 - 広域避難地(大規模火災時)
 - 主な河川・海
 - 有料道路
 - 主要道路
 - 市境界線
 - 区境界線
- ※凡例には、この頁に記載のない施設なども表示しています。



- 土砂災害(特別)警戒区域
 - 警戒区域
 - 特別警戒区域
 - 土砂災害危険箇所
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - がけ
 - 影響範囲
- ※マップ上に示された箇所以外にも土砂災害が発生する可能性があります。身の危険を感じたら、迷わず避難をしましょう。(令和3年4月7日大阪府指定分まで)



※この洪水・土砂災害ハザードマップは着色した河川区間の浸水想定区域を示しています。

5-4. 洪水・土砂災害ハザードマップ(石津川・大雨特別警報の発表が予想されないとき)

洪水・土砂災害ハザードマップ(石津川)について

このマップは、200年に一度の大雨(24時間総雨量271.1mm、1時間最大雨量75.7mm)が降った場合を想定したものです。(平成24年6月大阪府)マップで示した場所以外でも浸水が発生する可能性があります。雨の降り方などに十分注意しましょう。

！ 洪水に注意！ 情報収集を！

大雨特別警報の発表が予想されない場合、河川に設置された水位観測所の水位を参考に、市から避難情報を発令します。

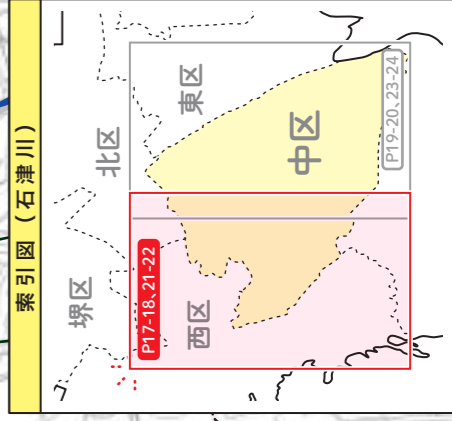
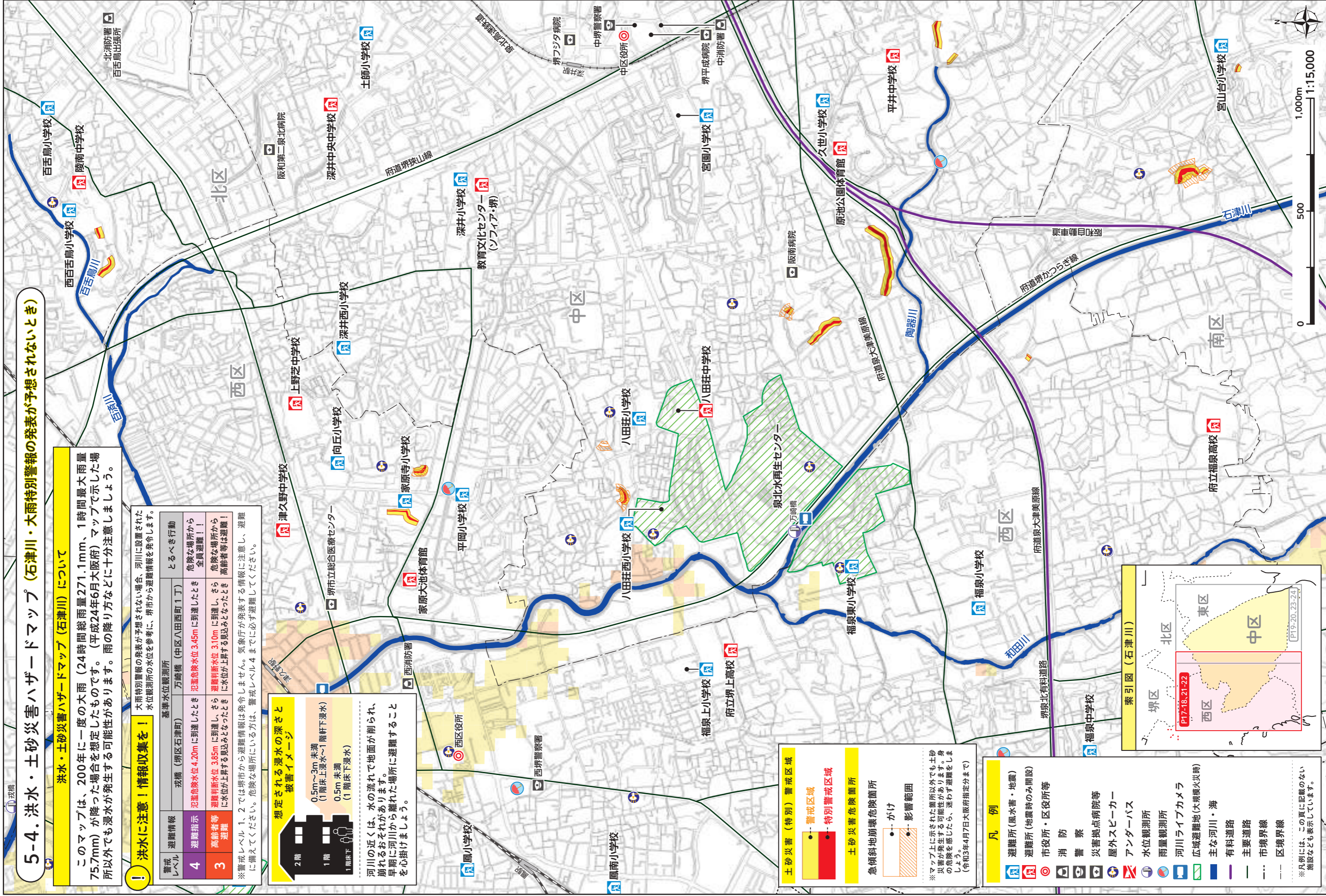
警戒レベル	避難情報	基準水位観測所	とるべき行動
4	避難指示	万歳橋(中区八田西町1丁)	危険な場所から全員避難！
3	高齢者等避難	避難判断水位 3.85m に水位が上昇する見込みとなったとき	危険な場所から高齢者等は避難！

※警戒レベル1、2では市から避難情報は発令しません。気象庁が発表する情報に注意し、避難に備えてください。危険な場所にいる方は、警戒レベル4までに必ず避難してください。

想定される浸水の深さと被害イメージ

0.5m~3m 未満 (1階床上浸水~1階軒下浸水)
0.5m 未満 (1階床上浸水)

河川の近くは、水の流れて地面が削られ、崩れるおそれがあります。早期に河川から離れた場所に避難することを心掛けてください。



土砂災害(特別)警戒区域

● 警戒区域
● 特別警戒区域

土砂災害危険箇所

急傾斜地崩壊危険箇所
がけ
影響範囲

※マップ上に示された箇所以外でも土砂災害が発生する可能性があります。身の危険を感じたら、速く避難をしましょう。(令和3年4月7日大阪府指定分まで)

凡例

- 避難所(風水害・地震)
- 避難所(地震時のみ開設)
- 市役所・区役所等
- 消防
- 警察
- 災害拠点病院等
- 屋外スピーカー
- アンダーパス
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 河川ライブカメラ
- 広域避難地(大規模火災時)
- 主な河川・海
- 有料道路
- 主要道路
- 市境界線
- 区境界線

※凡例には、この真に記載のない施設なども表示していません。

※この洪水・土砂災害ハザードマップは着色した河川区間の浸水想定区域を示しています。

5-4. 洪水・土砂災害ハザードマップ(石津川・大雨特別警報の発表が予想されないとき)

洪水・土砂災害ハザードマップ(石津川)について
 このマップは、200年に一度の大雨(24時間総雨量271.1mm、1時間最大雨量75.7mm)が降った場合を想定したものです。(平成24年6月大阪府)マップで示した場所以外でも浸水が発生する可能性があります。雨の降り方などに十分注意しましょう。

！ 洪水に注意！ 情報収集を！

警戒レベル	4	3	2	1
避難情報	警戒(堺区石津町)	注意(堺区石津町)	注意(堺区石津町)	注意(堺区石津町)
避難指示	浸水危険水位4.20mに到達したとき	浸水危険水位3.85mに到達し、さらに水位が上昇する見込みとなったとき	浸水危険水位3.10mに到達し、さらに水位が上昇する見込みとなったとき	浸水危険水位3.45mに到達したとき
とるべき行動	危険な場所から全員避難！！	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難！	危険な場所から全員避難！！

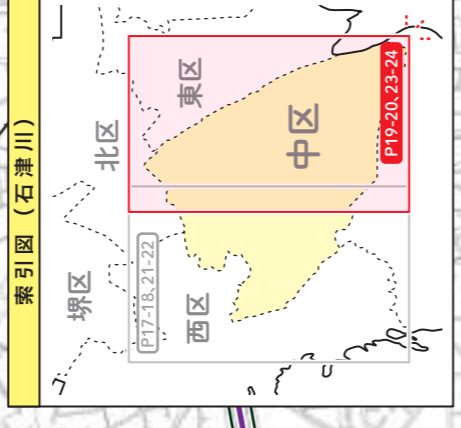
※警戒レベル1、2では堺市から避難情報は発表されませんが、気象庁が発表する情報に注意し、避難に備えてください。危険な場所にいる方は、警戒レベル4までに必ず避難してください。

想定される浸水の深さと被害イメージ

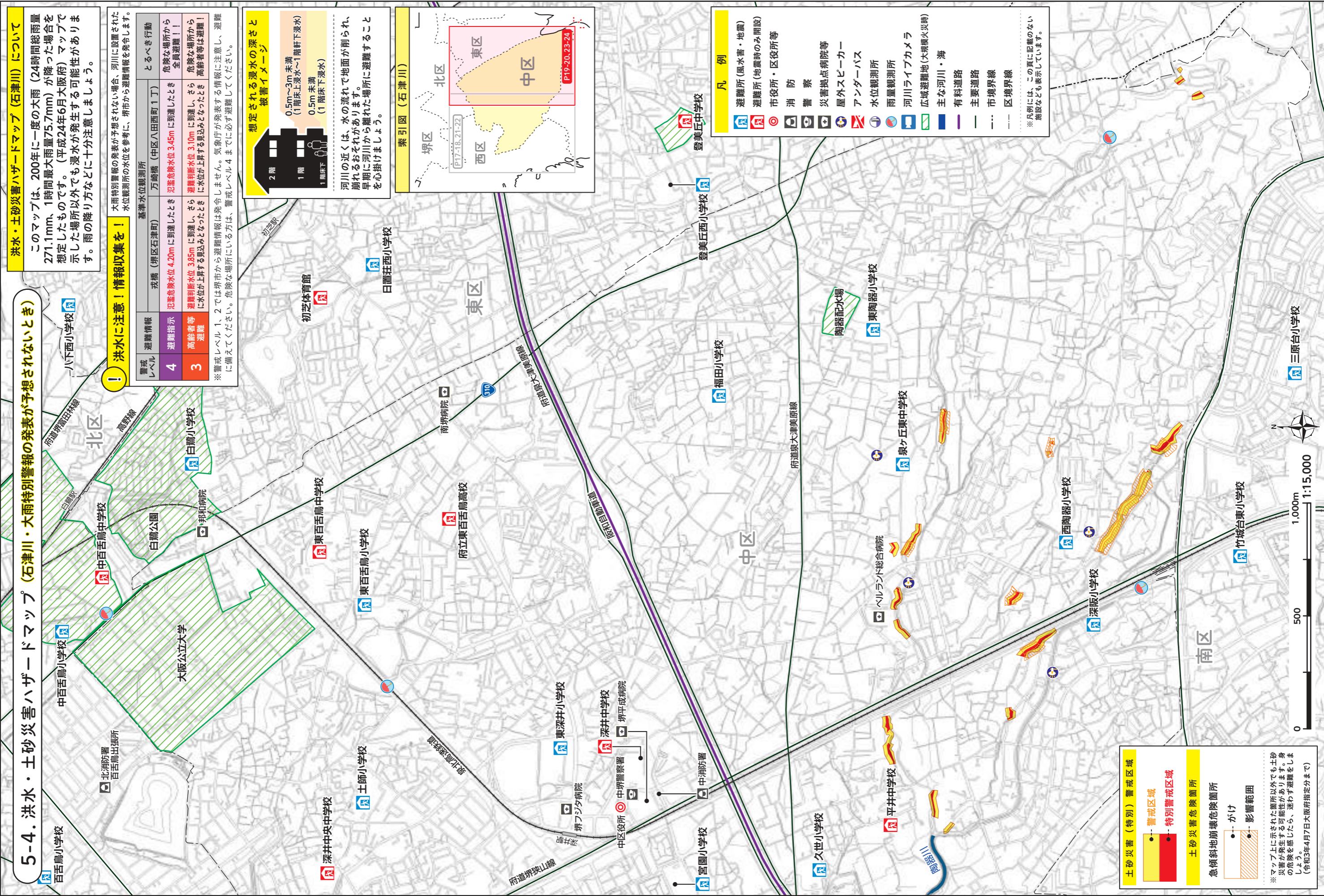
0.5m~3m未満 (1階床上浸水~1階軒下浸水)
 0.5m未満 (1階床下浸水)

2階
1階
1階床下

河川の近くは、水の流れて地面が削られ、崩れるおそれがあります。早期に河川から離れた場所に避難することを心掛けましょう。



- 凡例**
- 避難所(風水害・地震)
 - 避難所(地震時のみ開設)
 - 市役所・区役所等
 - 消防
 - 警察
 - 災害拠点病院等
 - 屋外スピーカー
 - アンダーパス
 - 水位観測所
 - 雨量観測所
 - 河川ライブカメラ
 - 広域避難地(大規模火災時)
 - 主な河川・海
 - 有料道路
 - 主要道路
 - 市境界線
 - 区境界線
- ※凡例には、この頁に記載のない施設なども表示しています。



土砂災害(特別)警戒区域

警戒区域

特別警戒区域

土砂災害危険箇所

急傾斜地崩壊危険箇所

がけ

影響範囲

※マップ上に示された箇所以外でも土砂災害が発生する可能性があります。身の危険を感じたら、迷わず避難をしましょう。(令和3年4月7日大阪府指定分まで)

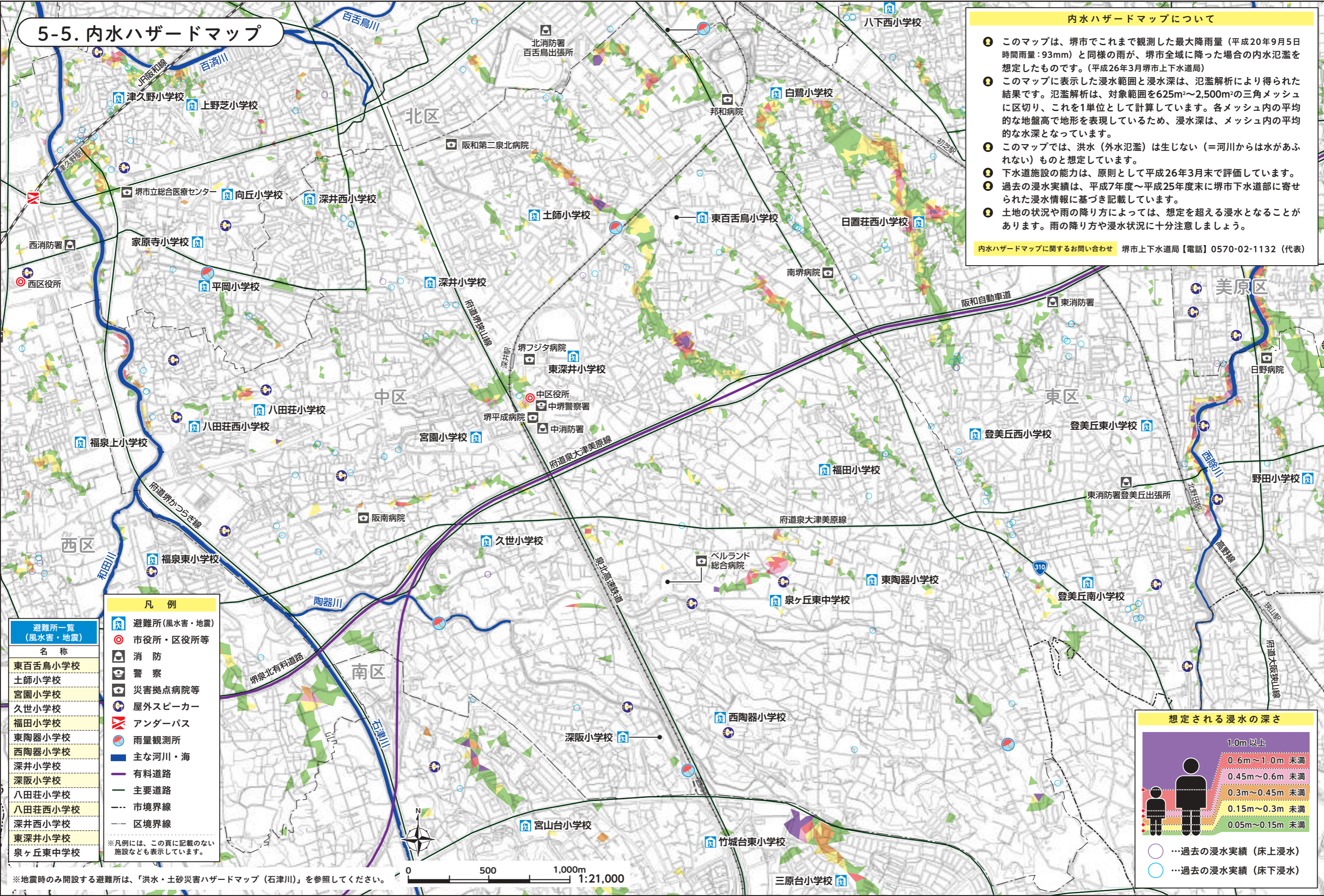
測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 3JHs 615

5-5. 内水ハザードマップ

内水ハザードマップについて

- このマップは、堺市でこれまで観測した最大降雨量(平成20年9月5日時間雨量:93mm)と同様の雨が、堺市全域に降った場合の内水氾濫を想定したものです。(平成26年3月堺市上下水道局)
- このマップに表示した浸水範囲と浸水深は、氾濫解析により得られた結果です。氾濫解析は、対象範囲を625m²~2,500m²の三角メッシュに区切り、これを1単位として計算しています。各メッシュ内の平均的な地盤高で地形を表現しているため、浸水深は、メッシュ内の平均的な水深となっています。
- このマップでは、洪水(外水氾濫)は生じない(=河川からは水があふれない)ものと想定しています。
- 下水道施設の能力は、原則として平成26年3月末で評価しています。
- 過去の浸水実績は、平成7年度~平成25年度末に堺市下水道部に寄せられた浸水情報に基づき記載しています。
- 土地の状況や雨の降り方によっては、想定を超える浸水となることがあります。雨の降り方や浸水状況に十分注意しましょう。

内水ハザードマップに関するお問い合わせ 堺市上下水道局【電話】0570-02-1132(代表)



凡例

	避難所(風水害・地震)
	市役所・区役所等
	消防
	警察
	災害拠点病院等
	屋外スピーカー
	アンダーパス
	雨量観測所
	主な河川・海
	有料道路
	主要道路
	市境界線
	区境界線

※凡例には、この頁に記載のない施設なども表示しています。

想定される浸水の深さ

	1.0m以上
	0.6m~1.0m 未満
	0.45m~0.6m 未満
	0.3m~0.45m 未満
	0.15m~0.3m 未満
	0.05m~0.15m 未満

○ …過去の浸水実績(床上浸水)
○ …過去の浸水実績(床下浸水)

※地震時のみ開設する避難所は、「洪水・土砂災害ハザードマップ(石津川)」を参照してください。

0 500 1,000m 1:21,000